

## 3学期始業（1月5日）

新しい年となり、気持ちを新たに、学業や仕事など、今年も頑張ろうと思っているのではないのでしょうか。今の新鮮な気持ちを忘れることなく、この1年過ごしていけるといいですね。

また、新年早々の1月1日16時10分、能登半島地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。翌1月2日午後5時50分ごろ、羽田空港では航空機の事故が発生しました。このよう大きな災害（地震）や、事故を目の当たりにし、不安に思った生徒も多かったと思います。我々にできることは何か、限られた小さなことしかできないかもしれませんが、この際考えてみることも大切なことではないかと思いました。

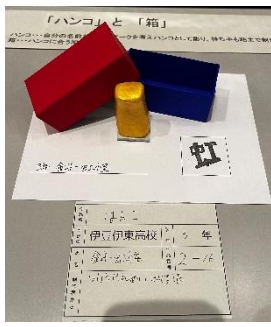
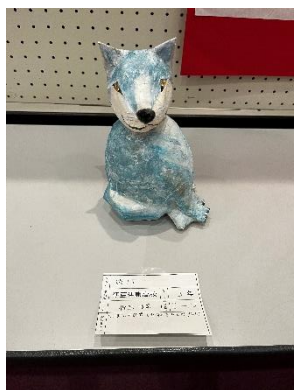
## 魚のおろし方教室（1月12日）

コロナの影響により、しばらく開催することができなかった魚のおろし方教室。生徒の皆さんの手際の良さ、段取りの良さに驚きました。講師の先生も、感心していましたね。

魚をおろす経験はなかなかできない貴重なものです。さすが伊東と思いました。出来上がった暖かい逸品を口に入れながら、伊東のあたたかさも同時に感じました。



## 静岡県東部高等学校定時制生徒合同文化祭（1月13日）



今年も、東部合同文化祭を無事に開催することができました。バスで伊豆長岡のアクシスかつらぎまで行き、東部の定時制高校7校（下田、伊豆伊東、沼津工業、三島長陵、小山、富士、富士宮東）の展示発表やステージ発表を見ました。本校からもたくさんの展示物を出品し、ステージでも、バンド部の発表がありました。

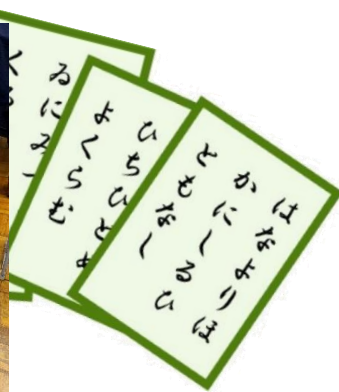
なお、参加者による投票の結果、本校の展示部門では、最優秀賞に、3年梅原瑠菜さん、優秀賞に、3年宮下若菜さんとなりました。二人はもちろんのこと、素晴らしい作品を出品してくれた皆さん、ありがとうございました。



## 百人一首大会（1月16日）

今年も、新年の行事として、クラスごとの百人一首大会を開催することができました。上の句を読んでいるあいだに取ることができた生徒も多く、白熱した大会となりました。

クラスの親睦を深めるよい機会になったと思います。



### 百人一首大会の結果

|       |    |    |    |
|-------|----|----|----|
| 1年生の部 | 優勝 | 古橋 | 悠  |
| 2年生の部 | 優勝 | 磯部 | 心  |
| 3年生の部 | 優勝 | 宮下 | 若菜 |
| 4年生の部 | 優勝 | 藤牧 | 晃太 |



## 令和6年度 伊豆伊東高校定時制 前期生徒会選挙(2月6日)

2月6日に行われた生徒会選挙には、会長、副会長に立候補したそれぞれ1名が演説を行い、その後すぐに投票となりました。

### 選挙の結果

生徒会会長 飯泉 翔太 さん  
生徒会副会長 山田 遥人 さん  
が信任されました。

二人は、生徒会の経験も豊富であり、平成6年度前期の生徒会を盛り上げてくれるものと期待しています。



## 卒業生を送る会（2月29日）



卒業式前日に生徒会主催で卒業生を送る会が催されました。  
4年生が入学したところから今までの記録したフォトムービーを上映しました。まだ幼さが残る入学当初から、一人前の大人へ成長していく過程がわかり、その成長に感動しました。また、藤牧さんの在校生に対するメッセージもあたたかく、心にしみるものでした。  
また、在校生から写真立て、卒業記念クッキー、花束プレゼントされました。

## 卒業式（3月1日）



卒業生一人ひとりに校長先生から卒業証書が手渡されました。皆緊張しながらも立派に式に臨み、最後まで厳粛な卒業式となりました。

4年間の努力がまさに結実した日。自らの誇りとして下さい。  
卒業おめでとうございます。

## 卒業生表彰

全国高等学校定時制通信制教育振興会会長賞 藤牧 晃太

伊東商工会議所会頭賞 小川 聖栄

本校定時制教育振興会会長賞

文化活動功労賞 藤牧 晃太

体育活動功労賞 稲葉 大和

特別賞 河本みさき

松永 翔惺

山本 宗孝

## 4年間精勤賞

4 年 河本みさき  
精勤賞

4年 寺田 慎

4年 藤牧晃太



## 総合コンクール〈年間総合成績〉

| 順位 | 学年 | 氏名    | 順位 | 学年 | 氏名    |
|----|----|-------|----|----|-------|
| 1  | 2  | 磯部 心  | 6  | 1  | 山口 温大 |
| 2  | 2  | 山田 遥人 | 7  | 1  | 伊藤レイナ |
| 3  | 1  | 田原 友絆 | 8  | 1  | 中村 光汰 |
| 4  | 4  | 山本 宗孝 | 9  | 3  | 梅原 瑠菜 |
| 5  | 4  | 藤牧 晃太 | 10 | 1  | 兼平 義貴 |

## 1年間皆勤賞・精勤賞

| 種別  | 学年 | 氏名    |
|-----|----|-------|
| 皆勤賞 | 1  | 古橋 悠  |
| 精勤賞 | 3  | 宮下 若菜 |
| 〃   | 1  | 伊藤レイナ |
| 〃   | 〃  | 齋藤航太郎 |
| 〃   | 〃  | 中村 光汰 |
| 〃   | 〃  | 野崎 徠矢 |

## 年度当初の予定

- 4 月 5 (金) 始業式・新任式  
 8 (月) 入学式(2~4 年家庭学習日)  
 9 (火) 個人写真撮影・身体測定  
 ~17(水) 面接週間(短縮日課)  
 16 (火) 対面式・1 年生初期指導



## 令和5年度卒業生答辞

厳しい寒さも和らぎ、春の訪れを感じられる今日、私たちは卒業を迎えることができました。本日、お忙しい中、私たちのためにご臨席くださいました皆様、誠にありがとうございます。校長先生をはじめ、ご来賓の皆様からお祝いの言葉をいただき、心からお礼申し上げます。私たち卒業生一同は、皆様のお言葉を深く心に留め、明日から新しい一歩を踏み出します。

思い返せば4年前、私達は期待と不安を抱えながら伊東高校に入学しました。しかし新型コロナウイルスの影響により入学後すぐに休校となってしまいました。先の見えない日々に対して非常に不安に感じると共に、これまで当たり前だった日々が失われることの重大さを認識しました。休校が終わりクラスメイトと出会うことができました。新しい仲間と関わっていくことで安堵感を覚え、このクラスメイトと卒業をしようという決意を固めました。

1・2年生のときはコロナ禍真っ只中で、残念ながら多くの学校行事が中止になってしまいました。ですが、3年生のときの修学旅行では大阪、神戸に行くことができました。日常生活では数時間しか会わないクラスメイトと2泊3日の旅行を共にし、クラスメイトが動物を眺めている姿をみたりクラスメイトと一緒に各地を回れたりしたことはとても楽しい、思い出に残る時間となりました。

このほかにも、テスト前になると苦手な科目や分からない箇所をお互いに教え合い、苦手教科を乗り越えてきたこと。

卒業後の進路を決定するとき、進路相談や将来についてなど様々な話をしてきたこと。

こうした本音で話せる恵まれた環境で育まれた友情は、この先も一生私の宝物となります。

そして、私はこの学校でたくさんのことを学ぶことができました。勉強とアルバイトの両立では、様々な苦勞をしてきました。朝からアルバイトに行き精を出し、夕方からは授業に取り組みました。

勉強とアルバイトの両立は決して簡単なことではなく、時には辛く、大変だと思いう時期もありました。しかし、クラスメイトのアルバイトの話を聞くことで私自身も、頑張ろうと思うことができました。

また、生徒会活動や部活動の課外活動では、日々の積み重ねが確かな結果に結びつくことを学びました。人前で話すことや大会に出場することは非常に緊張するものですが、事前の練習が本番の自分の助けになることを学びました。

4年間共に学びあい、笑いあい、励ましあったクラスメイトに加え、先生方にも本当に感謝しています。4年間学校生活を送っていると、時には悩みを抱えることもありました。そうした時に先生方は私達一人一人の話を心優しく聞いてくださり、的確なアドバイスをしてくださりました。先生方は、私たち一人一人の成長速度に目を向け、生徒第一でやってきてくださいました。

4年間の学校生活の中では、私達は間違いを犯してしまうこともありました。そんなときはしっかりと叱ってくれた先生方には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

この学校生活で先生方がいらっしやなければ私たちはここまで成長できていません。

先生方から教わったことを胸に刻み、明日から始まる新しい生活の糧にしていきます。

そして、いつも陰ながら私たちをサポートしてくれた家族にも感謝しています。  
今思い返せば、日常生活での私の様子を気にかけ、私のことを非常に心配してくれました。  
それでも、私は気にかけてくれることを当然のように振る舞い、時には口論もしてしまいました。  
卒業を迎えるにあたって、そのサポートがどれだけ助けになったか、改めて家族は偉大だと思い知りました。今、この場を借りて感謝を伝えたいと思います。いつもありがとうございます。これからもお世話になります。

後輩のみなさんにも伝えておきたいことがあります。高校で学んだことは必ず将来の役に立ちます。アルバイト後、夕方に学校に通うのは体力的にハードだったように感じます。アルバイトの後家にいることができたならどれだけ楽かと思ったこともありました。

ですが就職活動などを通して、学校で学ぶことは社会に出てから必要なのだと実感しました。勉強だけではなく、生徒会活動や部活動で培った経験も役に立つ場面があります。

今、伊東高校定時制から始まった4年を振り返ると、本当にあっという間です。みなさんも、高校生活での一つ一つの活動を大切に、可能な限り多くの経験をするようにしてください。

最後になりますが、多くの方々からのご支援があり、今日、私たちは卒業式を迎えることができました。この場をお借りし、お世話になった先生方、家族、そして私たちを応援してくださった全ての方々にお礼申し上げます。伊東高校、伊豆伊東高校共に私たちが作りあげてきた伝統を受け継ぎつつ、新たな歴史を作りあげていってください。

4月から伊豆伊東高校の発展と在校生の皆様のますますのご活躍をお祈りし、答辞とさせていただきます。

令和六年 三月一日  
卒業生代表 河本みさき

記事内容等及び定時制について、御意見、御要望等は担当（教頭）まで。

担当 教頭 瀧口 崇

電話 0557-44-0020（定時制）